



県弁護士会が月2回、無料通信アプリ「LINE」(ライン)で未成年者の悩み相談に応じる活動が開始から2年を迎えました。

①県弁護士会がLINE相談を始めた狙いは何ですか？

若者に普及しているコミュニケーションツールを使うことで、悩み事を気軽に打ち明けてもらうのが狙い。

②7月は過去最多の54件の相談が寄せられました。弁護士会はその原因についてどうみていますか？

本年度は新型コロナウイルスの影響で学校のスタートが遅れ、友人との関係や勉強などで子どもたちがさまざまな不安を感じているのではないかとみている。

③文章のやり取りだけでコミュニケーションを図るのは難しい部分もあるといいます。弁護士会はこの点の対策についてどう話していますか？

「スキルアップが必要と感じている。短文には短文で返すなど、相手のペースに合わせる工夫をしている。適切な相談体制を模索したい」と話している。

④あなたは休校が長く続いたことで困っていること、悩んでいることはありませんか？友達と話し合ってみよう。

## 県弁護士会 開始から2年

県弁護士会が月2回、無料通信アプリ「LINE」(ライン)で未成年者の悩み相談に応じる活動が開始から2年を迎えた。これまで友人とのトラブルなど計189件を受け付け、法的な問題以外にも対応してきた。今月は過去最多の54件が寄せられ、同会は「新型コロナウイルスの影響で子どもたちがさまざまな不安を感じているのではないかとみている。適切な相談体制を模索したい」と話している。



相談を呼び掛ける田中良太弁護士(大分県城崎町)

LINE相談は2018年7月、全国の弁護士会に先駆けて始めた。若者に普及しているコミュニケーションツールを使うことで、悩み事を気軽に打ち明けてもらうのが狙い。毎月第2、第4水曜日の午後4時半、7時半に匿名で受け付け、メッセージのやりとりは複数ある。従来は1回当たりの相談が数件で推移していた。今月は78日、23件、22日、31件と大幅に増加。「仲良くしたい友人に無視される」といった内容のほか、勉強、恋愛、家族関係に関するものもあった。対応した田中良太弁護士(30)は「本年度は新型コロナウイルスによる休校、学校のスタートが遅れ、まさに今、友人との関係を構築中だと思う。勉強が十分にできないか」と推測。相談窓口を知らせるカードを6月下旬、7月上旬に県内の小中高に

## コロナで学校スタート遅れ 今、友人関係に悩み・不安か

県弁護士会などは8月19、26日の2回、9日の計4日間、未成年者を対象にした夏季特別相談会を開く。いずれも午後4時半、7時半、LINEと電話(097・5336・2222)で対応。

文章のやり取りだけでコミュニケーションを図るのは難しい部分もあるという。田中弁護士は「スキルアップが必要と感じている。短文には短文で返すなど、相手のペースに合わせる工夫をしている。適切な相談体制を模索したい」と語った。

相談は必要に応じて児童相談所などの関係機関を紹介。深刻で緊急性が高いと判断した場合は電話での相談を勧めている。

配布したことも増加につながったとみている。相談は必要に応じて児童相談所などの関係機関を紹介。深刻で緊急性が高いと判断した場合は電話での相談を勧めている。

# LINE相談 今月急増



利用はLINEのID @fci02191を入力するか、QRコードを読み込み、「ふるん先生の悩み相談」を友達登録する。電話相談も毎週水曜日の午後4時半〜7時半に受け付けている。いずれも無料。